

1  
しちのみや じんじゃ  
**七宮神社**  
清盛は経ヶ島をつくるためにくずしたといわれる塩植山に祀られた神の怒りにふれないよう、神社を建て、港の安全を祈ったと伝えられています。



3  
ふく かい じ  
**福海寺**  
清盛が好んだ時雨の松は、青葉から玉露のしずくをたらし、不思議な力があつたと伝えられています。今は碑だけが残されています。  
※玉露…玉のように美しい露



5  
あ み だい じ  
**阿弥陀寺**  
清盛が魚を供養した魚御堂の土谷と言われている巨石が残されています。また、足利尊氏が敵方の楠木正成を討ち取ったことを確かめた石とも伝えられています。




2  
ちんじゅ いなり じんじゃ  
**鎮守稻荷神社**  
一の谷の戦いのときに生田の森で亡くなった平経俊を供養する五輪塔が残されています。



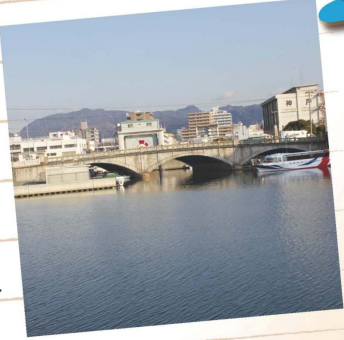
4  
しん こう じ  
**真光寺**  
清盛が広島県の厳島神社から勧請した七つの弁財天のひとつです。また時宗を開き広めた一遍上人のお墓があります。



6  
きよ もり ばし  
**清盛橋**  
清盛塚の近くの兵庫運河にかかる橋で、みんなで清盛橋と名づけました。橋の欄干には源平合戦などの清盛ゆかりの彫刻がさがられています。




清盛と大輪田泊  
清盛が平安京をはなれて都を福原にうつしたのは、兵庫区の南側に国の大事な港である大輪田泊があり、ここを中心に宋（今の中国）との貿易を進めようとしたことが考えられます。清盛は1173年に風や波から船を守るために人工の島をつくるなど、大輪田泊のたて直しをはじめたと考えられています。



和田（輪田）京計画  
1180年6月2日、安徳天皇らと京を出て福原（現在の兵庫区平野の地）を訪れた清盛は、すぐに都を建てる計画をたてます。はじめは、和田（輪田）の地を中心とした地域に新しい都を作ることを考えていました（和田京計画）が、海と山に囲まれた地形では十分な広さがなく、6月15日に早くも和田京計画をあきらめました。そして、清盛は福原に天皇の家をつくり、そこを中心としてまちの整備を行う計画に変え、福原を都として整えようとしていました。

平 清盛は何をしたの？  
昔から良い港として知られていた大輪田泊を立派にたて直しました。平安時代に日本で初めての人工の島（経ヶ島）をつくりました。この経ヶ島は現在のポートアイランドのようなものです。また、大輪田泊は今の神戸港になっています。清盛は神戸港がさかえる基礎をつくった大事な人だといえるでしょう。

発行／  
兵庫区民まちづくり会議  
(事務局：兵庫区まちづくり課内)  
〒652-8570 神戸市兵庫区荒田町1丁目21番1号  
TEL (078) 531-0033 FAX (078) 511-5331  
神戸市広報印刷物登録 平成23年度第339号(広報印刷物規格 B-1類)



# おおわだのとまり 大輪田泊



ビッグマン

## 金光寺

清盛が、夢のお告げにしたがつて海にのみを入れたら、金色の薬師如来像が引き上げられました。これを本尊として建てたと伝えられています。



## 古代大輪田泊の石椋

この大きな石は、石椋に使われたと考えられています。  
※石椋…石をつみあげた波よけの土台



## 来迎寺(築島寺)

大輪田泊をつくるときに嵐がおり、海の神様の怒りをなだめるために人柱になったと伝えられる松丸の供養塔が残されています。



## 清盛七弁天

清盛は、安芸国厳島神社を勧請するときに、宮島の七つの海岸にちなんで、兵庫に七つの弁財天をお祀りしました。それをお祀りしているのが、「和田神社・真光寺・濟鱗寺・恵林寺・兵庫厳島神社・氷室神社・花隈厳島神社」の七つの寺です。

## 和田神社

大輪田泊をつくるときに事業の無事と平家一門の繁栄を祈って、広島県の厳島神社の弁財天をおまつりしたといわれています。



## 能福寺

能福寺は、清盛が出家した寺といわれ、清盛のお墓と伝えられる清盛廟があります。また、境内には日本三大大仏に数えられる有名な兵庫大仏があります。



## 清盛塚

高さ8.5mの石造十三重塔は、清盛塚と呼ばれ、兵庫県の重要文化財に指定されています。石塔の横には昭和43年にたてられた平清盛像があります。



## 薬仙寺

薬仙寺には、萱の御所あとの碑が残されています。萱の御所は、清盛が後白河法皇を閉じこめたところと伝えられています。

